

mameCoin

-Prove your goodwill-

-prove your goodwill-



About mameCoin Project

株式会社
mameCoin

代表 橋口晃輔



世界で一番優しいコインをつくりたい

世界で一番優しいコインをつくりたい という思いから、私が発起人となり、多くの方々の御協力のもと、このプロジェクトが誕生致しました。
mameCoinが使われることによって、地域や社会に良質な化学反応が起こり、夢を叶える人やどこかで笑顔が生まれたりすると思うと心が踊ります。

mameCoinの普及に向け全力で取り組み、仲間を信じ、信念を持って前に進んでいきます。運営チーム一丸となって皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

ちなみにコインの名前の由来は、宝石のように綺麗で眩しく子供の頃に貰えると嬉しかったジェリービーンズから

カラフルなジェリービーンズのように、色々な可能性をもったmameCoinを世界中に届け **たくさんの笑顔の花を咲かせたい** という想いを込め、この名前を付けました



現在の寄付市場について



寄付についての理解を深めてもらいたい

日常生活の中で寄付というワードを聞く機会はありますが、その多くは「寄付って何だろう?」「現金や物資を支援するだけ?」「誰がまとめ、どのように運ぶのだろう?」など、寄付についてのシステムや仕組みの理解が進んでいないのが現状です。

私共は寄付に対する認知と社会性を向上させるため、[日本仮想通貨寄付協会](#)を設立し 寄付に対する正しい知識を広めるべく、講演や資格制度の制定を計画しております。その第一歩目として、支援を必要としている方がおられる現実や、寄付に対する正しい知識を手に入れることが出来る情報サイトを開設致します。

サイト内での情報提供は私共だけでなく、皆様にも参加していただけるようなシステムを準備致します。情報提供者には閲覧数や集まった寄付金に応じ、ボーナスが発生するようなシステムも考案中です。しっかりと情報が正確であるか審査した上で、支援するための環境を整えます。



現在の寄付市場について

2017年 世界寄付指數ランキング

Country	総合		手助け		募金		時間	
	Ranking	Score (%)						
Myanmar	1	65	57	53	1	91	3	51
Indonesia	2	60	76	47	2	79	1	55
Kenya	3	60	4	76	20	52	2	51
New Zealand	4	57	21	65	6	65	6	41
United States of America	5	56	7	73	13	56	7	41
Australia	6	56	19	66	9	63	10	40
Canada	7	54	16	67	10	61	16	35
Ireland	8	53	26	61	11	60	11	39
Mexico	106	26	82	46	101	18	102	13
Ethiopia	107	25	107	40	90	20	85	16
Egypt	108	25	49	54				
Togo	109	25	85	45				
Montenegro	110	25	108	40	76	24	119	10
Japan	111	24	135	23	46	32	73	18
Mali	112	24	69	50	124	11	113	11
Benin	113	24	101	41	115	13	81	17
Greece	114	24	70	50	130	10	114	11
Venezuela (Bolivarian	115	23	83	45	121	12	115	11

日本は111位

出典 : Charities Aid Foundation

こちらは、イギリスのチャリティ団体 Charities Aid Foundationが2017年に調査した 世界寄付指數ランキングの結果です。

- ・手助けランキング 135位
- ・募金額ランキング 46位
- ・時間ランキング 73位

全140カ国中 総合ランキング111位

もしも これら全てのランキングで少しでも順位を上回ることが出来れば
今よりも、より世界に日本の素晴らしいアピールする種になるのではないか
と私共は考えました



これからの寄付市場について

日本は諸先進国と比べ 個人での寄付総額が
圧倒的に低いとの統計が出ています。

日・米・英・韓 の個人寄付総額と名目
GDPに占める割合を比較したデータによると



0.14%



0.50%



0.54%



1.44%

(※ 寄付白書2017調べ)

このようになっており、この結果だけでも現在の国内市場規模が
如何に小さく **認知されていないのか** ということがわかります。

2018年現在、日本国内からの寄付総額は約7500億円、仮想通貨へ投資している日本人は人口の4%程と言われています。現在の寄付総額比率に対しその4%が寄付した場合、300億円程の寄付増を見込める計算となります。

7500億円に対して300億円増ですと、さほど大きな変化がないようにも思えます。ですが、作今の仮想通貨市場は1年間で10~1000倍も価値が変動する可能性を有しています。

仮想通貨を通じて寄付することで、より多く、より大きな事業に対し寄付金を届けられる可能性を秘めているのが**仮想通貨による寄付の強み**でもあります。



これからの寄付市場について

Pay it forward 計画

日本人は、必要以上な周りとの関わりを極力避けるシャイな一面をもつ人種です。道に迷い困ってる方を見かけても「声を掛けたら お節介と思われるかな？」などと懸念し、手助けしたくても出来ない方が多いかも知れません。

日本人は本来ボランティア精神旺盛だが
シャイな心が邪魔しているのではないか？

私共は、そう考えました。

「助けて欲しい人は手を上げ、助けたい人は手を差し伸べる」という一見単純なようで難しい環境もインターネットの世界でなら成立出来るのではないかでしょうか。私共はこれを「Pay it forward 計画」と名付け、サービスとして具現化し "助け合いの国 おもてなしの国 日本" の一端を担いたいと考えております。

私共は現在 mameCoinを利用した様々なサービスを準備、計画、開発しております。今後、インターネット上やモバイルアプリ等を通じてコインを利用出来るシーンを開拓し、皆様の生活と共に寄付がある環境を構築します。募金箱にお金を入れるような感覚で、誰でも気軽に寄付出来る仕組み作りを目指しております。

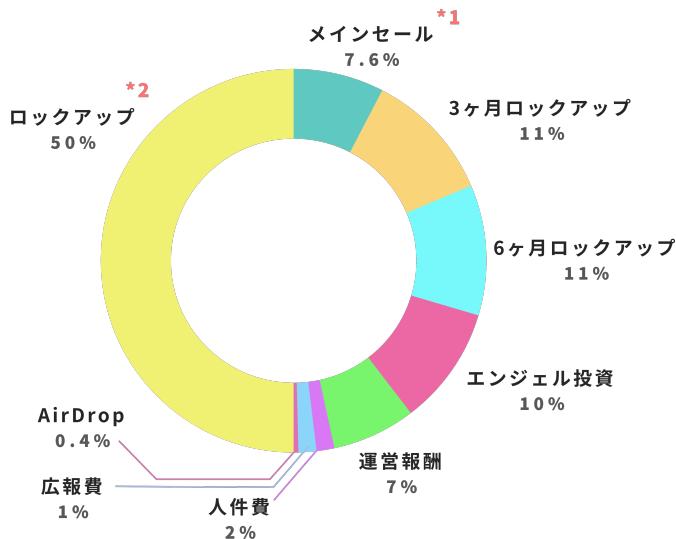
また、仮想通貨の特筆すべき機能であるスマートコントラクトシステムを利用することにより、コインの足跡を追跡することが出来、寄付金がしっかり必要な方々へ届いているか？という不安も解消され、より安心して寄付をしていただくことが可能になります。



トークン名:[mameCoin](#)
 トークンシンボル:[MAME](#)
 コントラクトアドレス:間もなく公開
 規格:[ERC20+独自拡張](#)
 拡張機能:ロックアップ、バーン、リファンド
 発行枚数:[250億枚](#)

ERC20 (Ethereum Request for Comment) は、イーサリアムブロックチェーンのスマートコントラクトに使用される標準規格です。ERC20規格のトークンは、現在多くの仮想通貨取引所やウォレットアプリに対応しているため、ユーザーは安心してトークンのやりとりを行うことが可能です。mameCoinのスマートコントラクトは独自にロックアップ、バーン、リファンドの機能を追加しています。またSafeMathライブラリを使用して脆弱性にも配慮しています。mameCoinは、MEW (MyEtherWallet) やハードウェアウォレットなどで管理することができます。

トークンの割当



1. 上場時、買板に高値でお並び頂いた順に販売するオークション形式
2. 2019年より10年間、毎年7月1日に12.5億枚ずつ放出
放出後の使途詳細は放出前にご説明致します

ロックアップ比率について

上場後における売り圧力を抑え、トークンの需給バランスの安定化を図るため、当社保有の発行済みトークンの売却に一定期間制限をかけるロックアップという制度を採用しております。また、特定の時期に売却が集中することを抑えるため、複数のロックアップ期間を設けております。

Roadmap

2018年6月

- ・株式会社mameCoin設立
- ・mameCoinを発行
- ・AirDrop開始

2018年7月
～9月

- ・海外取引所へ上場予定

2018年
～2019年

- ・海外大手取引所へ上場予定

2019年
～2020年

- ・mameCoinの認知を高める寄付ツールをリリース
- ・国内外での仮想通貨による寄付活動を促進する

2020年
～

- ・仮想通貨を通じた寄付活動における公益法人の設立

免責事項

- ・仮想通貨mameCoinの取扱いは各個人に委ねられるものとし、紛失事故等には一切お応え致し兼ねます。
- ・mameCoinプロジェクトによる利益や報酬などはお約束致し兼ねます。
- ・投資の際には、一定のリスクが発生することを御承知の上、自己責任でのお取引をお願い致します。